

## ロータリーの真髓 — 職業奉仕を語る(Ⅶ)

## 職場見学からの脱却を

国際ロータリー第2660地区

ガバナー **横山守雄**

## 職業奉仕は職場見学だけではありません

104年前に最初のロータリークラブがポール・ハリスと3名の仲間誕生した時には「職業奉仕」という概念は全くなく、発足当時は会員の親睦と相互扶助がクラブ活動の主目的でありました。その後、会員の間に社会奉仕や国際奉仕の概念が生まれ、そして職業奉仕が論じられるようになりました。しかし、なかなか目に見えない職業奉仕の概念は、ロータリーの創成期においても、分かりにくい分野だったと思われま

す。各クラブでは年度初めに職業奉仕委員長がその年度の活動目標を発表されます。その発表を聞いておきますと、「本年度、当クラブでは〇〇会社の職場見学を行い、そのあと親睦委員会と合同で懇親会を計画しております」という発表が多くみられます。地区職業奉仕委員会は各クラブに対し、年度のはじめに職業奉仕活動計画についてのアンケート調査を行なっています。その回答一覧表を見ても、実に多くのクラブが職業奉仕は「職場見学」と回答されています。私は少し違うのではないかと考えました。

そこで、本年度の地区重点活動項目の一つとして、私はロータリアンの「職業倫理

の向上」を掲げました。それはロータリアンにとっては当たり前のテーマではないか、今更重点活動項目に挙げる必要はないだろうと、お叱りを受けたこともありました。しかしロータリアンが分かっているようで分かっていないのがロータリーの職業奉仕という活動ではないかと思えます。

## ガバナー月信 職業奉仕のシリーズ連載

ロータリーの職業奉仕の真髓とは何だろう、一般会員の方にとって分かりやすいように、本年度は地区職業奉仕委員会の畑田耕一委員長に、毎月のガバナー月信上で職業奉仕に関する連載記事の企画をお願い致しました。

委員会は、ロータリー経験豊かな、そしてまた職業奉仕について独自のお考えをお持ちのバスターガバナー各位に、「ロータリーの真髓—職業奉仕」という題目で執筆を依頼されました。会員の皆様が毎月のガバナー月信上で、それぞれの執筆者の職業奉仕に対するお考えに触れることにより、ロータリーの職業奉仕に対する理解を一段と深められたのではないかと思います。

また、職業奉仕月間にあたっては、地区職業奉仕委員会の皆様がロータリーの誕生

から今日に至る職業奉仕に対する考え方やその変遷、取組み方について「職業奉仕の心」という冊子をお纏めくださいました。畑田委員長始め、地区委員会の皆様の本冊子の出版、配布に対する大変なご尽力に対して、改めて深甚なる敬意と謝意を表したいと存じます。「職業奉仕の心」は、永久保存版として、特にこれから各クラブの職業奉仕委員長に就任される方には、各年度が始まる前にぜひご一読いただきたいと願っております。

## 高潔性(Integrity)

### 内に向けた職業奉仕と外に向けた職業奉仕

RIは2007-2010年の「長期計画」(RI Strategic Plan)を定めて発表しております。その「長期計画」の最初に示されている「国際ロータリーの使命」の中で、「ロータリークラブの世界的連合体である国際ロータリーの使命は、他者に奉仕し、高い倫理基準を促進し…」と示されていますが、これがまさしくロータリアンはそれぞれが自分の職業を通じて、絶えず職業倫理の向上に努める必要があるということを表していると思います。またRIの戦略的計画の中で示されておりますロータリーの5項目の中核的価値観の中に「高潔性」(Integrity)という項目が含まれておりますが、これもロータリアンが目指すべき職業倫理を表しているものと解釈できます。

そしてまた、RIの戦略的長期計画の中で、優先活動が示されておりますが、その一つとして「ロータリー独特の職業奉仕への取組みを強調する」という項目があります。そ

の取組み方が具体的に次の様に示されております：

- \* 事業や職業団体に加わり、倫理的な意思決定に影響を与え、指導的な役割を果たすように奨励する。
- \* 他者、特に職のない人々の職業技能を開発する新たな方法を見つける。
- \* 学習や情報交換を行うための職業フォーラムの企画にさらに力を入れる。

地区職業奉仕委員会の岩本洋子委員が、職業奉仕委員長時代に述べておられました「内に向けた職業奉仕」、「外に向けた職業奉仕」がRIの長期計画の中でもしっかりと記述されております。

これから各クラブの職業奉仕委員長に就任される方は、クラブの職業奉仕委員会の活動が単なる「〇〇企業の職場見学とクラブ会員の懇親会」が唯一の活動メニューではなく、職業奉仕活動は奥の深い「ロータリー活動の真髄」であることをご理解いただくように願ひまして、シリーズ記事の最終稿とさせていただきます。この一年間「職業奉仕」に関する毎月の記事にお目通しいただき誠に有難うございました。